

事前質問に対するご回答

株主の皆様より事前にいただいたご質問の中から、ご関心の高い事項について回答させていただきます。

質問 5月15日に公表された増配及び株主優待制度の拡充から長期保有株主を重視する姿勢を感じる
が、今後、こうした株主還元と多額の投資を要する名駅再開発計画をどのように進めていくのか。

回答 当社の株主還元方針へのご理解をいただき、誠にありがとうございます。

株主還元につきましては、安全・安心に関わる投資を最優先としたうえで、成長投資と株主還元を行い、中長期的な企業価値の最大化を図るため、2026年度より、配当方針を「連結配当性向30%以上を維持し、そのうえで株主還元の安定性を確保するため、1株あたり年間配当金60円の下限配当を設定する」と変更しております。このほか、個人株主の皆様の長期にわたるご支援にお応えするため、2027年3月末日の基準日から株主優待制度を拡充し、長期保有の株主様を対象に、株主優待乗車証を追加することを決定しております。

名古屋駅地区再開発計画につきましては、今後の見直しの方向性の検討にあたり、「事業の実現性や財務健全性を踏まえて、難易度やリスクを下げ、投資規模を縮小することを前提に検討を進める」ことを発表しており、引き続き、新たな外部パートナーの導入も並行して検討してまいります。また、賃貸・事業用不動産を含めた保有資産の流動化の推進や、政策保有株の計画的な売却を進めるほか、資産効率性の低い事業・低採算事業の早期の再建・再編の見極めを通じた事業ポートフォリオマネジメントの徹底を通じ、来る名駅再開発に向け、資本効率向上と財務体質強化を加速していく所存であります。

以上、株主様のご期待にお応えできるよう、それぞれ取り組んでまいります。

質問 名駅再開発の見直しに伴う、経営陣の責任をどのように考えているのか。

回答 名駅再開発計画の見直しにあたりましては、株主の皆様をはじめとする関係の皆様にご心配をおかけいたしております。名駅再開発計画の検討プロセスにおきましては、事前に想定される課題やリスクについて多角的なシミュレーションを行い、取締役会での慎重な審議を重ねるなど、適切なガバナンスのもと、着実な手続きを踏んでまいりました。しかしながら、当初の想定を超える急激な外部環境の変化があったことで、今回の見直しを余儀なくされる事態に至ったことは、経営陣一同、大変重く受け止めております。

本総会においてお諮りする取締役を含む役員体制のもとで、現在の外部環境をしっかりと見極め、全社一丸となって早期に計画の方向性を打ち出し、当社の企業価値を着実に向上させることこそが、経営陣として株主の皆様の負託にお応えする最大の経営責任であると考えます。

株主の皆様には引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

質問 魅力的で独創的な観光列車を走らせることにより、蒲郡線をはじめとする沿線を活性化させる考えはないか。

回答 蒲郡線をはじめとする沿線の活性化、及び観光列車に関する大変前向きなご提案をいただき、感謝申し上げます。昨今、他社様における事例も含め、沿線の魅力を紹介しながら巡る観光列車が大きな注目を浴びていることは十分に認識しております。また、かつて当社の看板でありました「パノラマカー」の流れを汲むような、独創的で魅力ある車両により、新たな名鉄ファンを創出することは、ひとつの営業戦略になり得ると考えられます。

しかしながら、本格的な観光列車の導入となりますと、需要の見通しや運用のあり方に加え、多大な設備投資を伴うなど、様々な課題がございます。新型の観光列車の製造につきましては、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきたく存じます。

一方で、現状の車両を活用した企画列車につきましては、運営効率や収益性を考慮し、自社主催や旅行エージェント様への貸切手配などにより適時開催しております。今後も、お客さまに感動いただけるような、また沿線の活性化に繋がるような施策につきましては、様々な観点から柔軟に検討してまいります。

以上